

大祓詞

高天原に神留坐す 皇親神漏岐 神漏美の命以
ちて八百萬神等を神集へに集へ賜ひ 神議りに
議り賜ひて 我が皇御孫命は 豊葦原水穗國を
安國と平けく知らし食せと 事依さし奉りき
此く依さし奉りし國中に 荒振る神等をば 神
問はしに問はし賜ひ神掃ひに掃ひ賜ひて 語問
ひし磐根 樹根立草の片葉をも語止めて 天の
磐座放ち 天の八重雲を伊頭の千別きに千別き
て天降し依さし奉りき 此く依さし奉りし四方
の國中と 大倭日高見國を安國と定め奉りて
下つ磐根に宮柱太敷き立て 高天原に千木高知
りて皇御孫命の瑞の御殿仕へ奉りて 天の御蔭
日の御蔭と隠り坐して 安國と平けく知らし食
さむ國中に成り出でむ天の益人等が 過ち犯し
けむ種種の罪事は 天つ罪 國つ罪 許許太久
の罪出でむ 此く出でば 天つ宮事以ちて 天
つ金木を本打ち切り 未打ち斷ちて 千座の置
座に置き足らはして 天つ菅麻を本刈り斷ち
未刈り切りて 八針に取り辟きて 天つ祝詞の
太祝詞事を宣れ